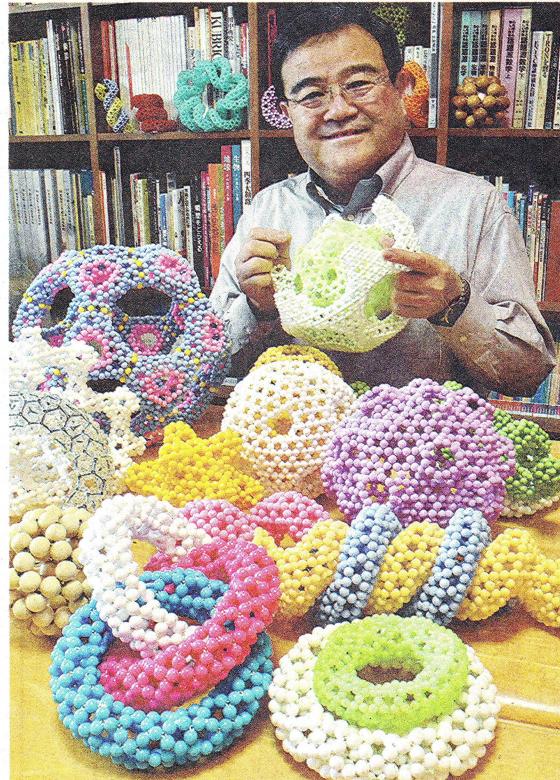


ビーズで生み出す多面体

春日井で数学教えた堀部さん制作



ビーズを使って複雑な多面体を編んでいる堀部さん=岐阜県多治見市元町で

春日井市内の高藏寺、春日井、春日井東の三高校で数学を教えてきた元教諭堀部和経さん(60)=岐阜県多治見市元町=が、規則性がある多面体ビーズを編んでいる。名付けて「数学的ビーズ編み」。学校や催しなどで作り方を教えている。

(山本真士)

四十二歳の時、立体が何か、一目では分かなければ、テレビを見ながらでも編める。編んに頼まれたのがきっかけを求める。面は五、六、七角形でそろえていけば始めた趣味。筒状、七角形でそろえていいが次々と生まれてくる。環状と形はさる。

まだ。最新作は「二重の核を包み込むチューブでできた十二面体」。ビーズが多面体を重層的に形成しながら連なる。最奥の立体

材料はビーズと「テグ

作り方を本格的に伝

う。紙に設計図は

描かない。完成した状

態をはっきりとイメー

ジできているからだ。

いたんイメージが固

った北海道の数学の高

校教諭百二十人だつ

た。最近は、小学生から

数学者まで幅広く声が

掛かる。そつくりな形

の化学の分子模型をビ

ーズで編んでいる台湾

の大学教授と交流し、

共同で論文を発表した

こともある。

主な作品は、個人ホ

ームページ=「堀部和

経」で検索=で公開

中。「数学の面白さを

伝えたい」と、講演の

依頼を材料費のみで受

け付けている。申し込

みはメール=kazuno

ri@horibe.jp=。